

実験を行った(気象大・荒川教授と共同研究, 1976年気象学会秋季予稿集)。同会員は, 将来重力波のふるまいを十分記述できる新しい台風の数値モデルを開発したいという意欲をもっているが, 今回は将来に向け今まで行われている台風の構造と発達理論をふまえ, 台風スケールを含む中緯度の不安定波のふるまいについて, 研究を進めたいと考えている。モデルとしては, 中緯度大気の平均的な成層状態を調べ, Yamasaki (1969), Wada (1977) の手法にならない, できれば Arakawa-Schubert の熱の取り扱いを適用したいとしている。

横山会員は, 日本付近において一度衰弱した熱帯低気圧が再び発達し, 100 mm 以上の降水をもたらした例を解析している(1979年, 東京管区地方気象研究会誌)。こ

の小スケールの低気圧は, 組織化されたレインバンド(渦状)を伴っており, 発達について傾圧不安定だけでは十分説明できないことを述べている。

中井・横山両会員は, ここに述べた熱帯低気圧が熱帯低気圧の構造をどの程度持っていたのか再度詳しく解析し, その上でこの種の発達が CISK でどの程度説明されるか, 先のモデルで検討しようとしている。

この研究はかなり困難を伴うものと考えられるが, 台風研究の重要なテーマの一つでもあり, このようなテーマに取り組む若い人の研究意欲による研究成果が期待されるものと認め, 本学会はここにその研究の推進を支援するため奨励金を贈るものである。

中部支部研究会のお知らせ

日時 昭和55年11月28日(金) 13:00~16:00
場所 長野市旭町 長野県勤労者福祉センター大会議室
テーマ 「噴火と気候」
1. 御岳山の噴火について
小川 祐嗣(長野地方気象台)

2. 火山噴火と気温変動
星合 誠(愛知学院大学)
3. 火山噴火と成層圏汚染
小野 晃(名古屋大学)

「続・気象学への手引」頒布のおしらせ

1978年4月から1980年8月にわたって「天気」に掲載された, 「続・気象学入門講座」全編を合本した「続・気象学への手引」を, 下記により頒布しておりますので御利用下さい。

記

内容 基礎コース12編, アドバンスコース26編
ほか約270ページ。

頒布価格 定価600円+郵送料(1980年10月現在1冊

書籍小包で250円)

申込先 東京都千代田区大手町気象庁内日本気象学会
申込方法(郵送を希望する場合には郵送料を含んだ)代金を前納して下さい。また, できるだけ, 郵便振替(口座番号: 東京 3-5958, 加入者名: 日本気象学会)を利用して下さい。なお, 職場単位などで申し込みいただける場合には, 事務処理上, 一括して申し込みいただければ幸いです。